



三十五年ぶり

教頭 増淵 敦男

私は昭和五十二年四月に、開校二年目の宇都宮南高に常勤講師の保健体育科教員として一年間お世話になりました。大学を卒業したての新米で、鹿沼高と兼務で週三日間の勤務でした。

当時は、普通教室棟と第一体育館の施設で、管理特別棟は工事中でした。校庭等も整備されておらず、現在残っている東西の野球のネットや、バレーボールの支柱を立てるコンクリートの受けと、西側にある坂道のランニングコースが、昔を思い出させてくれます。

一期生は四十六名のクラスで、各クラス男子が約四十名、女子が五・六名。二期生はクラスに女子約十三名程度だったと思います。制服は、男子が詰め襟の学生服、女子はセーラー服でした。ほとんどの生徒が自転車通学で、周りは田んぼであり、

あのころから不審者が多く出現しておりました。

何か行事を行うときは、初めてなので、先生と生徒と一緒に汗を流し、試行錯誤で行っていました。私の体育の授業でも、二年女子五・六名は、男子とは別に体育館の二階で卓球やバドミントンを一緒にやりました。部活動では、今も盛んな野球部が活躍しておりました。私はサッカー部の顧問をしており、公式戦初勝利の時は、みんなを抱き合い大喜びしたことを覚えております。

今年四月に三十五年ぶりに宇南高に。この間、施設は今年エアコンが教室に入るなど、整備されました。また、野球部が春夏併せて七回甲子園出場、バドミントン部やダイビング部等が、全国大会等で栄光を刻んでおります。制服も替わり、卒業生も一万一千人を超え、広い分野で活躍しております。今年度の宇南高は、教育目標を新しくし、目指す学校像を、「文武一致」の教育を実践する学校として、私の二度目の勤務と共にスタートしました。



はじめまして

PTA副会長 関口 日出夫



こんにちは
今年度四月よりPTA副会長を拝命しました関口です。

小学校、中学校のPTA役員経験はございますが、高校の役員は初めてですので、菊地校長先生の始め上野PTA会長他役員の皆様にお手伝いさせて頂きたいと思っております。

さて、21世紀に入り世の中は情報が溢れ混沌とした時代になり、価値観が多様多様になっていく中、子どもを含めた私たちはどのように生きていけば良いのか難しいのではないのでしょうか。仏教用語で「因果応報」という言葉があります。解説には諸説ありますが、「結果にはそれなりの原因がある」と云う意味で捉えるならば、「今」を一生懸命生きることが大切ではないでしょうか。「今」できる事

にベストを尽くし、その延長に将来が見えてきます。子どもたちの高校生活も目の前の受験・就職だけではなく、やがて築くであろう家庭や社会的責任の遠い将来を考えられる高校生活にして欲しいものです。では保護者は子どもに何をしてあげられるだろうか？「親」という字は木の上に立つて見守ると書きますが、見守るだけではないと思います。こんな話がありまして。子どもが重い荷車を引いていましたが、ぬかるみにはまっけてしまい、にっちもさっちもいかない状況になっていました。さてあなたならどのように対処しますか？

- ① 手を貸さずに見守る
 - ② 一緒に引っばってやる
 - ③ 後ろからそっと押してやる
- 答えはそれぞれのご家庭がありますのでこれが正解というのはありませんが、状況に応じて使い分けてあげる事が肝要だと思います。

生意気なお話をしましたが、我が子を思う親の気持ちは皆さん一緒です。宇都宮南高校の三年間を有意義に過ごしましょう。

関東高P連大会

千葉大会

第五十八回関東地区高等学校PTA連合大会が七月六日(金)から七日(土)の両日、千葉で

開催されました。「絆」深く、地域で学校で」をテーマに、関東六県と山梨県からPTA代表者が一堂に会し、PTA活動についての意見や情報を交換し合いました。

大会初日は、全体会及び宇宙飛行士の山崎直子氏による記念講演が行われました。夢を叶えるための思いや宇宙のロマン、宇宙の大きさを感ずる事ができる素晴らしい講演でした。

二日目は、栃木県提案担当の第一分科会「高校教育とPTA」、第三分科会「生徒指導とPTA」に本校は参加し、これからのPTAの望ましいあり方を考えました。

全国高P連大会 和歌山大会

八月二十二日(二十四日の三日間に渡り)全国大会が行われました。今年のテーマは「和をもつて響き合え！」一日目の基調講演は「はやぶさ」を開発成功させた川口純一郎先生のお話でした。映画のモデルにもなったお話で「夢」を持ち、あきらめな心で教わりました。二日目は分科会になり、栃木県からは黒磯高校が「思春期の子を持つ親の学びの実践」という演目でビデオを交えて発表されました。日頃忘れがちなことを気づかされる内容で大変充実していました。

8校球技大会

厚生部

七月八日(日)雀宮中学校において八校球技大会が開催されました。バレーボールは一回戦雀宮東小と対戦し、フルセットの末一対二で惜しくも敗北。ソフトボールは一回戦雀宮中に勝利。二回戦五代小に敗れましたが二位と好成績を収めました。選手の皆様お疲れ様でした。白熱した素晴らしい試合で、応援にも力が入りました。懸命なプレーは素敵でした。

朝早くからご協力いただいた皆様には、大変お世話になりました。



PTA交通街頭指導

生活指導部

本年度における生活指導部の行事でありました「さわやか活動」(交通指導)も、十二月十二日に、無事終了致しました。本活動に際し、御協力をいただきました皆様には、深謝致しております。

私自身、この原稿が最後になると思いますが、来春卒業を迎えられる三年生の皆様に、お願いがあります。

三年生の中には、普通車の免許証を、取得される方もおられることと思います。

今までは、マナー(自転車)で済んできました。でも、これから自動車の運転となりますと、法律を厳守しなければなりません。この法律を犯せば、排除される訳です。この事は、肝に銘じて下さい。

結びとして、来春卒業を迎えられる皆さん、宇都宮南高等学校の誇りをもって、雄飛して下さい。



PTAスクール

栃高P連PTAスクール

平成二十四年十月二五、二六日の二日間にわたり、栃木県高等学校PTA連合会主催の栃高P連PTAスクールが開催されました。

会場の鬼怒川ホテルあさやには、栃木県内の県立高等学校九四校から二六七人が参加しました。

初日は、日光東照宮欄宜(ねぎ)の、高藤晴俊氏による講演がありました。演題は、「世界遺産日光東照宮の謎と真実」です。高藤さんが撮った東照宮の写真を見ながら、五重の塔の屋根、空想の動物についての話。また、彫刻に込められた願いや当時の人々の思いなどについてユーモアを交えながらの講演でした。

二日目は宇都宮高校PTAと栃木商業高校PTAによる研究協議が行われました。



PTA研修会

とんぼ玉づくり

松尾 和美

今年の研修会は、十月二十日(土)第一化学室にて、「とんぼ玉づくり」を開催しました。

細長いガラス棒をバーナーの熱で溶かし、くるくると芯に巻いていきます。

色とりどりのガラス棒選びから始まり、最後の自分の作品をストラップ・アクセサリーにするまで、どの過程も楽しく作業することが出来ました。

出来上がった作品も、色合いや大きさが違い、どれ一つとっても同じものがなく、それぞれ素晴らしい作品が出来上がっていました。

参加者二十一名、ご指導してくださった館下先生、講師の方々がとうございました。

